

畜産とくトク情報

平成 22 年 8 月 27 日

(通算第 124 号)

問い合わせ先

長野県庁園芸畜産課

電話 026-235-7232

宮 崎 県 が 終 息 宣 言 ！

宮崎県は平成 22 年 8 月 27 日(金)に、今回の口蹄疫発生に対する防疫措置が完了し、安全性が確認されたとして終息宣言をしました。

しかしながら、中国を始め世界全域で発生が継続しています。いつまた国内で発生するかわかりませんので、引き続き侵入防止対策を徹底して下さい。

当面の留意点

宮崎県の発生地域(全ての偶蹄類家畜が殺処分された地域)では、家畜の再導入の際には事前に、感染の有無を確認するために観察牛を用いて一定期間観察する予定です。

- 1 人、物(車両、器具機材など)等は、なるべく農場に入れない。
入れる場合は、消毒を徹底して下さい。
飼料運搬車、集乳車、家畜運搬車等の消毒を継続して下さい
畜舎の出入口に消毒槽を設け、出入りの際には靴底を消毒して下さい
外来者がやむを得ず畜舎に入る場合は、農場専用の長靴にはきかえてもらいましょう
- 2 発生地域周辺からの家畜の導入には、最大の注意を払って下さい。
当面は九州地方から家畜を導入する場合は、事前に家畜保健衛生所に連絡し、導入後の健康状態のチェック等について相談して下さい

“観光牧場”や“ふれあい牧場”の皆様へのお願い

国内で発生がなくても世界全域で継続して発生しています。いつ国内で発生しても不思議ではありません。

また、腸管出血性大腸菌 O-157 やサルモネラ等の動物から人への感染症予防のためにも、今後も消毒の徹底を願います！

入場者に以下の対策への協力を呼びかけて下さい。

出入口での靴底の消毒をして下さい。

動物に接触する場合は、その前後に必ず手指を洗淨又は消毒して下さい。

「宮崎県での教訓」研修会開催(裏面)

口蹄疫研修会を開催します ～宮崎での教訓を活かすために～

今年4月に宮崎県で発生した口蹄疫は、292例、211,608頭の疑似患畜が確認されましたが、防疫措置の徹底により7月4日以降新たな発生は確認されていません。しかし、中国を始め世界全域で継続して発生があり、国内のどこで発生しても不思議ではない状況です。

万一県内で発生した場合は、発生農場はもちろん、周辺の偶蹄類飼養農家や動物園、関連施設、関連産業を含め防疫対応が必要になります。

そこで、宮崎県における対応について研修を行い、本病の重要性、防疫対策などについて理解を深めていただきます。

- 1 開催日時 平成22年9月22日(水) 午後1時30分から4時30分まで
(受付開始 午後1時から)
- 2 開催場所 レザンホール 中ホール
(塩尻市大門7番町4番8号)
- 3 内 容
第1部(13:40から14:40まで)
演題:防疫活動の実際
講師:農林水産省生産局畜産部畜産振興課 首席畜産専門官 小倉弘明 氏
第2部(14:50から16:20まで)
演題:宮崎県での教訓
講師:宮崎大学農学部獣医学科獣医衛生学教室 准教授 末吉益雄 氏
- 4 参集範囲
偶蹄類動物飼養者、関係団体、一般参加者(入場無料)
- 5 主催
長野県、(社)長野県獣医師会
- 6 参加申し込み方法
参加を希望される方は、下記にご記入の上、9月16日(木)までにファックスで最寄りの家畜保健衛生所にお申し込み下さい。

記

参加者氏名	連絡先(電話番号)	飼養動物



家畜保健衛生所	F A X 番号	家畜保健衛生所	F A X 番号
佐久	0267-63-3002	飯田	0265-53-0441
上田支所	0268-25-7160	松本	0263-47-0101
伊那	0265-72-2765	長野	026-227-2665
県庁園芸畜産課	026-235-7481		

口蹄疫は偶蹄類の伝染病であり、人に感染することはありません